



2026年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月15日

上場会社名 株式会社ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 4433 URL <http://www.hitocom-hd.com>
代表者(役職名) 代表取締役社長グループCEO (氏名) 安井 豊明
問合せ先責任者(役職名) 執行役員社長室長兼IR室長 (氏名) 飯島 幸一 (TEL) 03(5924)6075
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第3四半期の連結業績(2025年9月1日～2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第3四半期	47,531	△0.3	1,102	△40.9	1,017	△45.6	261	△69.0
2025年8月期第3四半期	47,691	7.1	1,867	27.5	1,871	29.7	841	101.9

(注) 包括利益 2026年8月期第3四半期 454百万円(△50.2%) 2025年8月期第3四半期 911百万円(48.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第3四半期	14.64	—
2025年8月期第3四半期	47.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期第3四半期	41,652	18,596	40.8
2025年8月期	40,822	18,907	42.6

(参考) 自己資本 2026年8月期第3四半期 16,975百万円 2025年8月期 17,373百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	18.00	—	19.00	37.00
2026年8月期	—	18.00	—	—	—
2026年8月期(予想)	—	—	—	19.50	37.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想(2025年9月1日～2026年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	62,260	△2.1	1,150	△53.9	1,065	△57.5	152	△82.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 4社 (社名) 株式会社スクウッド、株式会社伊賀市にぎわいパートナーズ、株式会社津森千里デザインスタジオ、株式会社ティー・シー
除外 2社 (社名) 株式会社ティー・シー、株式会社 f m g

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年8月期3Q	17,899,333株	2025年8月期	17,899,333株
② 期末自己株式数	2026年8月期3Q	56,933株	2025年8月期	56,933株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年8月期3Q	17,842,400株	2025年8月期3Q	17,842,400株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 決算補足説明資料は、作成後当社ホームページに速やかに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2025年9月1日から2026年5月31日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって緩やかに回復しております。一方で、米国の通商政策による不透明感に伴う景気下振れリスクや中東情勢に起因するエネルギーコストや原材料価格の高騰による物価上昇が継続し、家計・企業を取り巻く環境は改善傾向にあるものの予断を許さない状況が継続しております。

このような環境のもと、当社グループは「マーケティングの未来創造企業グループ」をテーマに、「ヒューマン営業支援」と「デジタル営業支援」を有機的に融合した「オムニチャネル営業支援企業」としての更なる事業リソースの充実に向けた取り組みを継続しております。具体的には、当社グループ各社が持つ専門性を継続的に高めるとともに、必要に応じて外部リソースを柔軟に活用することで、グループ全体の総合力を高めるとともに事業シナジーの最大化に取り組みます。これにより、雇用機会や新規事業を創出し、社会課題の解決を通じた持続可能なより良い社会の実現に向けて貢献してまいります。

当第3四半期連結累計期間においては、中期経営計画における重点領域である「ホールセール」において、IPライセンスを活用した新規事業及び第1四半期連結会計期間より連結した株式会社津森千里デザインスタジオが業績に寄与いたしました。また、「販売系営業支援」において、通信分野の営業支援が好調に推移いたしました。

しかしながら、「販売系営業支援」においてストア分野等の受注が伸び悩んだほか、「デジタル営業支援」においては前第1四半期連結累計期間に案件終了したECサイトの影響による減収がありました。また、「エアポート」においては株式会社FMG及び株式会社fmgの決算期変更による減収及び受注拡大が見込める空港グランドハンドリング業務の受注体制強化のためのランプ機材(GSE)や人材確保等によるコスト増加が発生したほか、日中関係の悪化や中東戦争の影響による国際便の減便が発生いたしました。

以上の結果により、当第3四半期連結累計期間の売上高は47,531百万円(前年同期比0.3%減)、営業利益は1,102百万円(前年同期比40.9%減)、経常利益は1,017百万円(前年同期比45.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は261百万円(前年同期比69.0%減)となりました。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

(アウトソーシング事業)

当第3四半期連結累計期間においては、「エアポート」において、株式会社FMG及び株式会社fmgの決算期変更の影響及び受注拡大が見込める空港グランドハンドリング業務の受注体制強化のためのランプ機材(GSE)や人材確保等によるコスト増加が発生したほか、日中関係の悪化や中東戦争の影響による国際便の減便が発生し減収、減益となりました。また「販売系営業支援」においては、通信分野の寄与で大幅に増収となった一方、スタッフ人件費等売上原価の上昇により減益となりました。

その結果、売上高は19,979百万円(前年同期比5.2%増)、営業損失は324百万円(前年同期は477百万円の営業利益)となりました。

(人材派遣事業)

当第3四半期連結累計期間においては、需要の拡大が見込まれる空港、ホテル等インバウンド領域、新規領域として物流分野における人材サービスの営業に注力いたしましたが、販売系営業支援において特にストア領域やその他販売領域において大幅に縮小し減収となりました。他方で継続的な単価交渉の実施により収益性が改善し、増益となりました。

その結果、売上高は6,246百万円(前年同期比4.4%減)、営業利益は369百万円(前年同期比17.5%増)となりました。

(EC・TC支援事業)

当第3四半期連結累計期間においては、特にファッションやスポーツ分野でのEC需要の拡大を背景に、蓄積したノウハウを活用して既存クライアントの業績向上や新規運営サイトの拡大に取り組みました。前第1四半期連結累計期間に終了したECサイトの影響により減収となった一方、外注費用の効率化等により収益性を改善し増益となりました。

その結果、売上高は6,262百万円(前年同期比13.1%減)、営業利益は366百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

(ホールセール事業)

当第3四半期連結累計期間においては、円安の進行や物流費用の高騰による減収及びコスト増加が発生したものの、IPライセンスを活用した新規事業が好調に推移したこと及び第1四半期連結会計期間より連結した株式会社津森千里デザインスタジオの業績が寄与し、増収、増益となりました。

その結果、売上高は12,590百万円(前年同期比0.7%増)、営業利益は689百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産の残高は、売掛金の増加等により前連結会計年度末に比較して830百万円増加して、41,652百万円(前連結会計年度末比2.0%増)となりました。

負債の残高は、短期借入金の増加等により前連結会計年度末に比較して1,140百万円増加して、23,056百万円(前連結会計年度末比5.2%増)となりました。

純資産の残高は、剰余金の配当等により前連結会計年度末に比較して310百万円減少して、18,596百万円(前連結会計年度末比1.6%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の業績予想につきましては、2025年10月14日公表の「2025年8月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の数値を修正しております。当第4四半期連結会計期間は「エアポートセクター」の「空港グランドハンドリング事業」及び「ホールセールセクター」において厳しい事業環境が見込まれることから、通期の親会社株主に帰属する当期純利益は当第3四半期連結累計期間と比較し109百万円減少の152百万円を見込んでおります。

詳細は本日(2026年7月15日)付で公表いたしました「2026年8月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,133	11,312
受取手形、売掛金及び契約資産	10,871	12,437
商品	491	645
仕掛品	71	73
その他	2,381	1,419
貸倒引当金	△9	△8
流動資産合計	25,939	25,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,215	2,522
減価償却累計額	△671	△797
建物及び構築物（純額）	1,544	1,724
機械装置及び運搬具	1,431	2,399
減価償却累計額	△161	△343
機械装置及び運搬具（純額）	1,270	2,055
工具、器具及び備品	888	995
減価償却累計額	△613	△701
工具、器具及び備品（純額）	274	293
土地	1,273	1,290
リース資産	129	296
減価償却累計額	△85	△112
リース資産（純額）	44	184
建設仮勘定	304	122
有形固定資産合計	4,712	5,671
無形固定資産		
のれん	6,106	5,598
ソフトウェア	857	955
その他	151	250
無形固定資産合計	7,116	6,803
投資その他の資産		
投資有価証券	600	531
関係会社株式	850	1
関係会社長期貸付金	440	110
繰延税金資産	556	562
その他	1,187	2,427
貸倒引当金	△579	△334
投資その他の資産合計	3,054	3,297
固定資産合計	14,883	15,772
資産合計	40,822	41,652

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,543	5,086
短期借入金	100	2,350
1年内返済予定の長期借入金	1,298	1,372
リース債務	13	38
未払金	4,049	3,543
未払法人税等	622	110
資産除去債務	8	—
賞与引当金	236	399
その他	3,008	2,030
流動負債合計	13,880	14,929
固定負債		
長期借入金	6,756	6,670
リース債務	37	151
繰延税金負債	5	54
役員退職慰労引当金	436	481
株式給付引当金	98	104
退職給付に係る負債	513	461
資産除去債務	134	150
その他	51	51
固定負債合計	8,034	8,126
負債合計	21,915	23,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	450	450
資本剰余金	91	91
利益剰余金	16,903	16,465
自己株式	△100	△100
株主資本合計	17,344	16,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△1
為替換算調整勘定	28	70
その他の包括利益累計額合計	28	68
非支配株主持分	1,533	1,621
純資産合計	18,907	18,596
負債純資産合計	40,822	41,652

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
売上高	47,691	47,531
売上原価	38,173	38,043
売上総利益	9,518	9,488
販売費及び一般管理費	7,650	8,385
営業利益	1,867	1,102
営業外収益		
受取利息	8	19
受取配当金	0	0
受取補償金	24	—
助成金収入	—	17
違約金収入	20	—
その他	48	19
営業外収益合計	101	56
営業外費用		
支払利息	54	83
貸倒引当金繰入額	30	—
その他	12	58
営業外費用合計	97	142
経常利益	1,871	1,017
特別利益		
投資有価証券売却益	87	0
特別利益合計	87	0
特別損失		
固定資産除却損	—	1
投資有価証券売却損	—	5
投資有価証券評価損	21	—
特別損失合計	21	7
税金等調整前四半期純利益	1,938	1,011
法人税等	945	605
四半期純利益	992	405
非支配株主に帰属する四半期純利益	151	144
親会社株主に帰属する四半期純利益	841	261

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	992	405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	△1
為替換算調整勘定	△20	49
その他の包括利益合計	△81	48
四半期包括利益	911	454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	763	301
非支配株主に係る四半期包括利益	147	152

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の変更

株式会社スクウッド、株式会社伊賀市にぎわいパートナーズ、株式会社津森千里デザインスタジオ及び株式会社ティー・シーは重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

なお、株式会社ティー・シーは、株式会社津森千里デザインスタジオを存続会社とする吸収合併により消滅しております。

株式会社fmgについては、中間連結会計期間において当社の連結子会社である株式会社FMGに吸収合併されたため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社における税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額
	アウトソー シング事業	人材派遣 事業	EC・TC 支援事業	ホールセー ル事業	計				
売上高									
外部顧客へ の売上高	18,986	6,537	7,204	12,503	45,231	2,460	47,691	—	47,691
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	16	241	33	0	292	487	780	△780	—
計	19,002	6,778	7,238	12,504	45,524	2,948	48,472	△780	47,691
セグメント 利益(注) 1	477	314	352	675	1,819	62	1,881	△14	1,867

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護サービス、教育研修、富裕層向けリムジンサービス、システム開発関連サービス等を含んでおります。

3 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社資産にかかる減価償却費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額
	アウトソー シング事業	人材派遣 事業	EC・TC 支援事業	ホールセー ル事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	19,979	6,246	6,262	12,590	45,078	2,453	47,531	—	47,531
セグメント間の内部売上高又は振替高	32	285	100	10	429	617	1,046	△1,046	—
計	20,012	6,532	6,363	12,600	45,508	3,070	48,578	△1,046	47,531
セグメント利益またはセグメント損失(△) (注) 1	△324	369	366	689	1,101	23	1,124	△21	1,102

(注) 1 セグメント利益またはセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護サービス、教育研修、富裕層向けリムジンサービス、システム開発関連サービス等を含んでおります。

3 セグメント利益またはセグメント損失(△)は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社資産にかかる減価償却費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	352百万円	603百万円
のれんの償却額	611百万円	596百万円